

## 優秀作品賞

### 「孫からの贈り物」

長友 和久さん

「禁煙するつもりはない」それが父の口癖だった。父は40年以上喫煙しており、家族が禁煙をすすめても、頑固な父は変わらなかった。そんな父に心境の変化が見えたのは、私が結婚して妻が妊娠したことがきっかけだった。あれだけタバコ好きだった父が、妻の前ではタバコを吸わなくなったのである。チャンスだ、と思った。これまで健康に何も気を遣わなかった父が孫の誕生で変わるかもしれない。タバコだけでなく太り気味の体型も気になっていた。私は父に人間ドックに行ってみないか、と誘ってみた。案の定、父は渋い顔をする。

「そんなものは必要ない」

「万が一ってこともあるよ。僕たちの子供の成人式まで長生きしてほしいんだ」

父は迷っている。もう一押しだ。

「実はもう予約してあるんだ。僕も受けるから、一緒に行こう」

予約などしていなかったが、父を動かすためにとっさにでまかせを言ってしまった。父は渋々頷いてくれた。私はその日のうちに予約をすませた。

私も父も初めて受ける人間ドックだったが、当日は何ごともなく検査が終わった。こんなに簡単に終わるならもっと早くに父を連れてくればよかった、と思ったほどだ。後日送られてきた結果では、私は特に異常なし、とのことだったが、父には「肺の再検査が必要」とあった。私の前では父は平気な顔をして

いたが、母に聞くと落ち込んでいたそう。自分で肺気腫や肺がんについて調べていたらしい。そんな不安の中で父が受けた再検査。うれしいことに、結果は異常なし。ほっと安心したのだった。

再検査のあと、意外なことがあった。父がタバコの本数を減らし始めたのだ。徐々に減らして禁煙するという。

「孫が成人するまで健康でいたい」

父の口から健康なんて言葉が出てくるとは、思いもしなかった。禁煙だけではない。食事や運動にも気を遣い始め、「禁煙」「減塩」「運動」の文字を家に貼り、実際に取り組みだしたのだ。一番驚いていたのは、母だった。

「孫の力は偉大ね。まだ生まれてもいないのに、お父さんをすっかり変えちゃった」

妻のお腹が大きくなるにつれて、父の体型は少しずつスリムになり、タバコも完全にやめることができた。私は父と、これから毎年一緒に人間ドックに行くことを約束した。来年は母も連れて行くつもりだ。

孫が生まれること、そして人間ドックに行ったこと。この2つが父を大きく変えた。今回のことを通して、私は知った。人間ドックは異常を見つけることだけが目的ではないのだ。自分の生活習慣を見直し、改善するきっかけにすることができる。そして自分を大切にすることが、家族を大切にすることにもなる。生まれた子供に、父を変えてくれてありがとうとお礼を言うつもりだ。